

日本教師教育学会課題研究第Ⅱ部会 講演会

オーストラリア・モナシュ大学

# Dr. Loughran

## 「教師から教師教育者へ 研究者から教師教育者へ」

教員の資質・能力向上のためには、教師教育の資質向上、  
更には教師教育者の資質・能力への問いが必要でしょう。  
教師教育者の教育学をリアリスティックに問う講演会です。

日時：2017年2月19日（日）14：00～17：30

場所：武蔵大学1号館1203教室

参加費：無料

主催：日本教師教育学会課題研究第Ⅱ部会

共催：広島大学学習システム促進研究センター  
(RIDLS)

後援：武蔵大学

問い合わせ

[teachereducatorsa@gmail.com](mailto:teachereducatorsa@gmail.com)

(担当 武田信子)

### Dr. John Loughran (ジョン・ロックラン)

オーストラリア・モナシュ大学教育学部長、カリキュラム・教授法学科初代  
学科長。

10年間の科学教員を経て教師教育者に。専門は教師教育、科学教育。教師教育の重要文献（Routledge社self-studyシリーズ、Sense社Professional Learningシリーズ）の編者や、雑誌（Studying Teacher Education、Self-Study of Teaching Education Practice）編集長、副編集長、さらに Teacher Education Quarterly、Journal of Reflective Practiceの国際編集顧問を歴任するなど、教師教育分野の国際的リーダーのひとり。

★セルフスタディとは…教員や教師教育者による実践を対象とした当事者研究★





教師から教師教育者へ  
研究者から教師教育者へ

教える人を教えるTeacher Educators・・・教師教育者、という対人支援専門職は、  
教員養成や教員研修において、  
教師や教師志望者が専門性を高めていくための学びの支援をします。

優れた医者だからと言って、医学教育者になれるわけではなく、  
解剖学の権威だからと言って、医学教育者になれるわけでもない。  
同様に、  
優秀な教員だからと言って、教師教育者になれるわけではなく、  
教育学や特定教科分野の研究者だからといって、教師教育者になれるわけでもない。  
では、どうしたら教師教育者になれるのだろうか？

今回、教師教育者の専門性開発を国際的にリードするロックラン教授を  
広島大学学習システム促進センターと日本教師教育学会が協働で招聘して、  
お話をうかがうことになりました。  
日本の状況については、  
東京大学大学院教育学研究科の秋田喜代美教授に解説をお願いしました。  
日本教師教育学会会長で帝京大学の三石初雄教授にもコメントをいただきます。  
通訳は、OECDの教師教育実態調査に関わっておられる島根大学百合田真樹人先生です。

教師教育者の専門性開発が、ここから始まります。  
どなたでも参加できます。  
学校現場、教育委員会、大学の先生も、教育を受ける学生も、どうぞご来場ください。

日 程

ご挨拶	14:00 - 14:05	山岸哲哉 (武蔵大学学長)
講師紹介	14:05 - 14:10	佐々木弘記 (中国学園大学教授)
基調講演	14:10 - 16:20	

- ◎教師から教師教育者へ 研究者から教師教育者へ  
Dr. John Loughran (オーストラリア・モナシュ大学教育学部長)
- ◎日本の教師教育及び教師教育者の専門性開発の現状と課題  
秋田喜代美 (東京大学大学院教育学研究科教授)

討議	16:20 - 16:50	
コメント	16:50 - 16:55	三石初雄 (日本教師教育学会会長 帝京大学教授)
閉会挨拶	16:55 - 17:00	武田信子 (武蔵大学教授)
交流会	17:00 - 17:30	研究や実践の情報、名刺を交換しましょう。